

## 研修キャラバン（第7回）

第6回機械・産業遺産ツアーと合同企画として開催。

### 機械・産業遺産ツアー

昨年度実施した3回の機械・産業遺産ツアーはそれぞれ好評であったので、今年度も3回のツアーを実施した。

#### 第4回 6月7日(金) 関西電力蹴上発電所（京都市）24名参加

当日は真夏を思わせる好天の下、松久会長の挨拶の後、「水力発電事業発祥之地」の石碑説明からツアーが始まり、発電所内でビデオ・パワーポイントを用いた琵琶湖疎水建設から、水力発電所が京都市電を始めとする近代化の礎となった経緯について説明を受けた。そして現在稼働している発電機や制御室、第二期発電所を見学した後、駒井名誉教授の謝辞に続き正門前で記念撮影をして終了した。その後自由見学となり、多くの会員は蹴上発電所で使われていた発電機が保存されている琵琶湖疎水記念館や山県有朋の別邸だった無鄰菴などを見学した。5時からは南禅寺門前の順正本店で名物湯豆腐を賞味し、古都の機械・産業遺産についての話題に花が咲いた。



「亮天功てんこうをたすく」の石額がかかる第二期発電所を背景にして

#### 第5回 9月24日(火) 島津製作所創業記念資料館（京都市）31名参加

第5回は（株）島津製作所のご厚意で、同社の京都三条本社工場及び創業記念資料館にて開催された。

##### 1) 三条工場での工場見学

工場見学では、X線応用の医療用機器等を展示した「メディカルセンター」と半導体製造工場などで使用される高真空環境を作るターボ分子ポンプの工場を案内いただいた。メディカルセンターでは、高感度直接変換方式フラットパネルを搭載したX線TVシステムの画像の状況などを説明いただいた。ターボ分子ポンプの工場（通常見学不可）をご厚意で組立工場の内部（クリーンルーム）を窓越しに見せていただき、カットモデルにより磁気軸受を含むポンプの機構につき説明いただいた。また、X線の照射角度を変化させて撮影した投影データから任意高さの断面の画像を構成する「トモシンセシス」について講演いただき、メディカルセンターでの説明と合わせて、最近のX線画像診断の進歩を知る事が出来た。

##### 2) 創業記念資料館の見学

隼瀬英雄館長の案内により、明治8年に始まる同社の沿革と日本初のX線装置をはじめとする理化学器械、ドイツからもたらされた木製旋盤等々の展示物を見学した。終了後、角倉了以別邸跡の「がんこ高瀬川二条苑」にて懇親会が開催された。



創業記念館入口前にて記念写真



創業記念館内の初期の教育用機器

## 第6回 11月20日(木)、21日(金)一泊〔第7回研修キャラバンと合同企画〕 23名参加

20日：ヤンマーミュージアムおよびヤンマー株式会社びわ工場（長浜市）の見学

21日：フジテックビッグウイング（彦根市）、永源寺ダム（東近江市）の見学

宿泊地：ヤンマーディーゼル健康保険組合「びわこ蜻蛉荘」

第6回は1泊2日で開催された。なお、2日目は研修キャラバン（バス利用）との合同企画である。

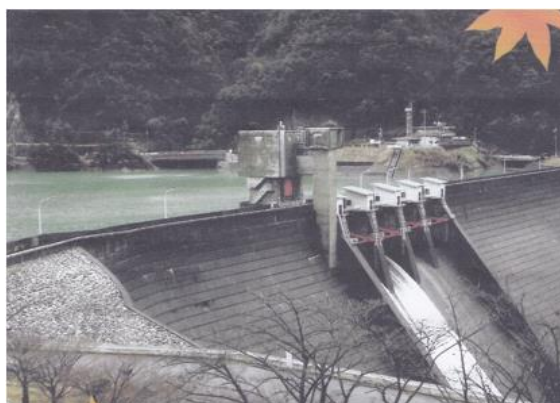
20日はJR米原駅（西口）に集合、ヤンマー配車のバスにてヤンマーミュージアム（長浜）に到着、研修室にてディーゼルエンジンの小型化にとりくんだ創業者山岡孫吉の偉業など説明を受けた後見学に移った。エントランスにはMAN社の巨大なディーゼルエンジンが展示されていた。隣室は山岡孫吉記念室で、機械遺産（ヤンマー小形横形水冷ディーゼルエンジンHB形 2007年(機械学会認定初年度)認定番号 No. 8、写真）が陳列されていた。展示室は農業ゾーン、海洋ゾーン、まちづくり（ものづくり）ゾーン、エネルギーゾーンにわかれ、農業ゾーンではコンバインなど各種農業用車両が展示され、農業の機械化に情熱が傾けられたことが良く理解出来た。2階はエンジンギャラリーで、小型エンジンおよびノズルなど各種部品も展示されていた。

びわ工場は小型ディーゼルエンジンの生産工場。全自動の機械加工ラインと無人搬送車LGVが走り回り、加工完成品ラックからは必要な加工部品だけ自動的に組み立てラインに送られ、組み立てラインでは何種類ものエンジンが自動的に組み立てられていくさまに驚かされた。

21日は朝食後、蜻蛉荘（長浜）出発、フジテック本社ビッグウイング（彦根）到着後、第1工場、XIORコーナー（標準エレベーターモデルルーム）、研究棟（超高速エレベーターで40階スカイロビー）などを見学した。超高速エレベーターが振動も殆ど無くその乗り心地の快適性に驚かされた。

午後は永源寺ダムを見学した。このダムはコンクリートとロックフィルからなる複合ダムで、堰堤の高いダムとしては日本で初期のダムである。管理事務所の職員から丁寧な説明を頂いた。水量は少なかったが、ダム堰堤からの眺望スケールは大であっ

た。その後、永源寺の歴史・文化遺産などを自由散策した。紅葉真っ盛りの時期ですばらしい眺めであった。永源寺出発後名神經由 J R 京都駅にて解散 17 時すぎ



左：機械遺産（ヤンマー小形横形水冷ディーゼルエンジンHB形）  
右：永源寺ダム（複合ダム：図左ロックフィル、右コンクリート）



びわ湖蜻蛉荘  
にて記念写真



フジテック  
ビッグウイングにて記念写真